

## 鹿屋市立吾平小学校 特別の教育課程の実施状況等について

## 1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

## 鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒につくり、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成を目指します。

## 2 本校の教育目標

自ら学びに向かい、友達と共に取り組み、新しい時代を生き抜く吾平の子どもを育てる。

## 3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

## (1) 1・2年生の取組

年間指導計画に則り、JTE・ALTと担任による外国語活動を行った。

## (2) 3・4年生の取組

年間指導計画に則り、JTE・ALTと担任による外国語活動・外国語の学習を行った。

## (3) 5・6年生の取組

JTE・ALTと担任による外国語の学習を行った。

## (4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

吾平地区内の学校 4 校で連携して進めた。

(5) 校内研修体制について

外国語の研究授業を行い、授業の流れや指導法について研修を深めた。

#### 4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	88%	86%	76%	71%	40%	49%
どちらかというと楽しい	4%	7%	24%	18%	48%	40%
あまり楽しくない	8%	7%	0%	11%	12%	11%
楽しくない	0%	0%	0%	0%	0%	0%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
54%	38%	8%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 積極的に発言できるようになること。
- ・ コミュニケーション力，国際理解の視点，英語を楽しむ力
- ・ 専科の配置

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
43%	46%	8%	3%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ 楽しく学んでくれたら良い。
- ・ 英語を話す力を身につけてほしい。
- ・ 苦手意識をもたないようにしてほしい。
- ・ 外国の方とコミュニケーションをとれるようになってほしい。

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	思わない
88%	12%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・ ジェスチャーを交えながら聞く力・話す力を1年生から身に付けさせることは、今後自己表現力を磨くことに加え、多様な文化を受け入れる際にとっても有効であると考えます。
- ・ 失敗を恐れず、自分の意見を自由に発言できるようになること。

- ・ 苦手意識を持たずに楽しく親しみやすさを感じるものにしてほしい。

## 5 令和4年度の取組について

- (1) 1・2年生の取組  
年間指導計画に則り、1・2年はJTE・ALTと担任による外国語活動を行っている。
- (2) 3・4年生の取組  
JTE・ALTと担任による外国語活動・外国語の学習を行っている。
- (3) 5・6年生の取組  
JTE・ALTと担任による外国語活動・外国語の学習を年度当初からスピーキングクエストや弁論大会への取組を見据えて行っている。

その他、担任・JTE・ALT間で、授業の流れやスキット・ゲームなどの打ち合わせを授業前に行っている。

デジタル教科書などのICTやカード、ワークシートなどの教材を活用している。

ウォームアップのときにスキットをなるべく行い、使う表現に触れさせ、めあてを設定したり、活動を工夫したりしている。

振り返りカードを作成し、めあてを書いたり、本時の反省をしたりすることで、次時へつなげている。

各教室にクラスルームイングリッシュを掲示して毎時確認、活用している。

- (4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議（小中一貫教育）について  
共通実践事項に取り組んでいく。
- (5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会（小学校：スキット部門）について  
6年生を中心に弁論大会を見据えて、スキットを授業に取り入れている。  
他の学年でもコミュニケーション力を意識して授業を行うようにしている。
- (6) グローカル・イングリッシュキャンプについて  
6年生の参加があった。
- (7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について  
機会があれば交流したい。
- (8) スピーキングクエストの実施について  
JTEと連携し、年間の指導計画の中に位置付けている。

- (9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について  
校内研修でイングリッシュガイドブックを活用し，指導力向上に努めている。